



農村伝道神学校後援会だより NO. 98

## キョウカイを越えて

道北クリスチャンセンター主事 藤吉求理子

農村伝道神学校を卒業し、北海道名寄市の道北センターで働くようになってから今年で19年目になります。振り返ってみると、本当に充実した幸せな日々でした。道北センターは、1960年の創立以来、「神を愛し、人を愛し、土を愛する」という三愛精神を土台として、地域に根ざした活動をしてきました。年に2回開催される道北三愛塾には教会の人だけでなく、各地の農民、農と食に関心を持つ人たちが集まってきました。農場訪問に行くと、農村が今抱えている課題に触れ、食糧を育む喜びや苦しみを知ります。道北地区の多くの教会は小さく、助け合わなければ立ち続ける事は難しいです。だからこそいつも顔を合わせ、時にはけんかをし、葛藤を抱えながらも、小さい群れの持つパワーを発揮しています。英語学園では小学1年生?60代の人が英語を学んでいました。ある生徒は「ここで英語学習だけでなく、世界のいろいろな価値観や文化を学び、自分の世界が広がる体験をした」と言ってくれました。この他にも地元のグループと平和活動をし、アイヌ民族の文化や権利を大切にしていくな動きにも連動しています。

センターは「リトリート」の場所です。自分の生活の現場から一旦離れ、安心できる場所で心を開き、人と出会い、様々な学びをし、神とじっくり対話します。そして、心と魂と体に栄養を蓄え、また自分な場所へ帰っていくのです。疲れ果ててここにたどり着いた人たちが、おいしいものを食べ、ゆっくり寝て、たくさん笑って話して、時には涙を流し、すっかりした顔で家路につくのを見ると、嬉しくなります。この顔がセンターで働く1番の喜びであり、力の源です。

道北センターは今大きな過渡期を迎えています。39年間センターで働いたロバート・ウイットマーさんとウイットマー圭子さんが今年引退し、1950年代から続いてきたカナダ合同教会の宣教師の存在がいなくなり、今後は日本の教会の力で運営していかなければなりません。経済的人的支援を越えた新しいカナダ合同教会との関係を構築し、次のヴィジョンを持つため、私は昨年6月より1年間カナダへ研修に派遣されました。カナダでは、信徒宣教師の養成講座とその活動、各地のセンターと地域の宣教、若い人たちへのプログラムを中心に、各地でコースや現場に参加して学びました。

北海教区では、教会員の数が減少し小さな教会で専任の牧師を招聘するのが難しくなっているため、将来を見据えて様々な教会形成を考え始めています。その中で道北センターは2011年度より「信徒のための宣



筆者カナダにて

教講座」を始めました。カナダ合同教会では1980年代より、牧師の少ない農村地域で働く「信徒牧師」の養成が行なわれています。この度私は「信徒牧師」と「礼拝リーダー」の学びの輪に参加しました。信徒牧師は教会で「学生牧師」として働きながら3年間の学びをし、卒業後は按手を受けた牧師とほぼ同じ働きをします。礼拝リーダーは2年間課題を提出しながら、6回のコースに参加し、各地の礼拝を応援します。どちらの学びの輪も体験的で、アートやワークショップを取り入れた刺激的な濃い学習の場でした。学びの輪の卒業生の現場も訪ね、信徒ならではの地元と一体化した宣教のあり方に触れ、目を開かれる思いがしました。

各地のセンターは経済的な厳しさを抱えながらも、60年以上その地のニーズにあった良い働きをしています。環境問題への取り組み、先住民族の人たちとの連帯、性的少数者に開かれた場づくり、課題を抱えた若い人たちが人生をゆっくり考える時間、民族差別をなくす活動など、時代とともに変化しながら魅力的なプログラムが展開されています。地域宣教の現場では、教会を週日ホームレスの人たちに解放し、食事の提供や洗濯機、シャワー、コンピューターなどを無料で利用できるようにしており、生きづらさを抱えた人たちが農作業をする場所もありました。どんなに小さな教会も、地域の働きに参与する姿勢が印象に残っています。カナダでも日曜日礼拝に来る若い人が減っています。そのため、日曜日午前中以外の時間に様々なプログラムを持っています。平日の夕方に地域の小さいお子さんのいる家族を招き、ミニ礼拝、クラブづくり、夕食をともにする「ちらかった教会」というユニークなプログラムもありました。

1年間であまりにたくさんのお出会いと学びがあり、まだ消化しきれていませんが、この体験をセンターの新しいステージを作る原動力とし、「教会」を狭い枠の中に押し込めるのではなく、様々な「キョウカイ」を越える働きを展開していきたいと願っています。



第108回道北三愛塾集会にて

# キャンパス レポート NO.15

**四季折々の恵みを収穫しに来ませんか！**  
農場運営委員会

農場運営委員会は、野津田の里山で実る四季折々の恵みを多くの皆様にも「収穫の感動を味わって頂けたら」と願っています。収穫の時期は年により若干前後しますが、年間計画でご予定頂きは是非お出掛け下さい。収穫時期、料金、申込みなど事務所へお問い合わせ下さい。  
農伝事務所 (042) 735-5775



**菜の花摘み 3月中旬～4月初旬**

\* 農伝のある里山の冬は、東京都町田市とは言え寒い。そんな里山でも、フツと春の風を感じた時、栗畑ではもう菜の花がツンとした茎や葉を伸ばします。菜の花摘みは、群生する花の中に入り時にはミツバチと共に花粉や花のかおりにまみれて収穫します。穂先から5センチほどつぼみを摘みますが、他では得られない収穫の喜びです。お出掛け下さい。

**タケノコ堀り 4月初旬～4月末**

\* 菜の花の散る頃、竹林の細道が割れ、敷き詰められた笹の落ち葉が盛り上がり、タケノコ堀りが始まります。豊作の年は1キロもある大きなタケノコは、それは見事です。土の中から自らの手で掘り上げる醍醐味と、本当のタケノコの味を是非味わって下さい。期間中個人でも団体でも予めお申込みの上、恵みの里山へお出掛け下さい。

**ミョウガ採り 7月下旬～8月初旬**

\* 梅雨が空け、ミョウガの葉に陽が照り返す時期になると、熱気でむせ返る茂みの中で真っ白な根、赤紫の茎、薄緑の頭、丸々と太ってプリプリンのミョウガが育っています。しかしミョウガの収穫時期は1～2週間の間と短いのでタイミングが合えば他では余り体験出来ない、素敵なミョウガ採りになるでしょう。

\* 毎年栗拾いは里山を賑わし、栗のイガで悪戦苦闘する子どもたちの声が響きます。しかし農伝の先達が植え、育てた栗も数年前から衰えが著しく加えて去年、今年の猛暑もありこの秋までに約6割の栗の木が枯れ、以前のような栗拾いの行事に就くことが出来なくなりました。それでも、秋を味わう個人での栗拾いにはもうしばらくお応え出来そうです。

**栗拾い 9月中旬～10月中旬**

\* 里山に少し涼しい風が吹く頃、ギンナンの実が鈴なりになります。農伝に一番多い木が銀杏の木、どの木にもびっしりと実がつきます。ギンナンは葉が紅葉するより先に実が黄色くなり、やがて木の下一面に実が落ちます。この実を収穫し果肉を取り、白い種（ギンナン）に仕上げるには手間がかかります。落葉で見えなくなる11月下旬まで楽しめます。

**ギンナン拾い 9月初旬～11月下旬**

\* 農伝には以前から貸し農場があります。農伝関係者で一定条件がありますが、貸し農場は幼稚園など団体や個人に1年契約の区分貸し出しを行っています。利用者の栽培技術は年々進歩し、情報交換や同好のコミュニティが出来、季節毎に見事な収穫も！？。2015年度へ向けて新区画で募集が再スタートしますのでご応募下さい。

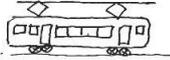
**貸し農場 4月～翌年3月**



## 農伝デー後援会コーナーのご案内

後援会だよりをいつもお読み頂いている皆さん！是非一度お遊びにお出掛け下さい。きっと発見があります。

農村伝道神学校ってどんなところ？… 一度出掛けてみませんか！どうぞ、ご計画下さい。



小田急線鶴川駅下車

駅前より



終点「野津田車庫」



徒歩10分

農村伝道神学校オープンキャンパス

# 農伝デー

～農伝の自然を守ろう！～

**2014年10月18日(土) 10:00～14:00**

当日は鶴川シオン幼稚園「シオンデー」も開催されます。  
※雨天時は農伝デー、シオンデー共に10月25日(土)に遅延します。

**講演会10:30～11:30 場所:礼拝堂 (入場無料)**

**演題:「農伝と野津田公園問題」**

**講演者: 瀬戸英治 氏 (日本基督教団鶴川教会 牧師)**

※車でのご来場はご遠慮下さい。



農伝デーでは軽食、喫茶、教会委託物品販売、神学生実習農場収穫野菜などのほか、後援会コーナーもあります。後援会コーナーでは、農伝へ来られた記念として、親しい方へのプレゼントとして、また農伝を知って頂くためのPRグッズとして、など色々なグッズの販売をいたします。



外にもいろいろあります。

2014年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2014年6月1日～8月31日 ( ) 内の数字は回数で、金額はその合計です。

<b>後援会献金 (団体)</b>	小倉 明子 5,000	月本 昭男 5,000	<b>記念日他献金 (団体)</b>	酒巻美和子 3,000	吉田 依子 50,000
	小原 敏 10,000	永江 顕三 5,000		崎山 待子 5,000	吉松 繁 2,000
学校法人明治学院日本基督教団東京教区南支区諸教会	片岡謁也・輝美 5,000	成川 晃 100,000	大阪台湾教会 20,000	佐藤 智子 20,000	吉村 直子 1,000
	金井 良樹 10,000	西村保興子 3,000	松本筑摩野伝道所 4,000	佐藤 節男 10,000	渡辺 重義 5,000
串木野教会	20,000	樺澤 幸雄 3,000	合計2件	下屋敷統太 1,000	渡辺 晴美 3,000
日本基督教団西東京教区	14,300	河原田美哉子 5,000	金額	高寺 幸子 5,000	渡辺寿美子 5,000
婦人委員会	10,000	菊地 泰 3,000		高橋 昭子 2,000	匿名 5,000
水元教会	8,600	倉田 一郎 3,000	<b>記念日他献金 (個人)</b>	高橋 幸子 3,000	合計52件
箕面教会	10,000	桑野直義・瑛知子 5,000		高橋とも子 30,000	金額 620,000
三元建設株式会社	10,000	小泉 晴子 5,000	秋保美保子 5,000	辻井武志・嗣子 3,000	<b>ひとつぶ献金</b>
若松栄町教会	10,000	五藤民雄・裕美子 10,000	市橋みはる 3,000	津村有紀子 5,000	厚別教会 3,600
合計7件		近藤 康夫 5,000	市村 翠 5,000	豊田 江美 100,000	生田教会 84,800
金額	82,900	斎藤 和子 10,000	大久保洋子 10,000	中村千恵子 10,000	軽井沢追分教会
		迫田康洋・満寿枝 3,000	大澤 錦一 30,000	成田 昭子 3,000	
<b>後援会献金 (個人)</b>		佐々木和子・英之助 10,000	大仲 朝江 10,000	服部千賀子 5,000	
		10,000	加藤 義昭 1,000	日高 静枝 5,000	50,000(2)
浅野 直人 5,000		佐々木迪淳 5,000	上内 鏡子 2,000	平本 善一 3,000	杉並教会 18,200
東 寿子 2,000		三宮 千枝 3,000	川崎 トシ 3,000	福井 達雨 5,000	相武台教会 10,500
安部 一徳 10,000		嶋貫 春江 2,000	菊地 嘉昭 10,000	福井稔・のぶみ 3,000	鶴川北教会 50,000
池田 伯 5,000		清水 政江 5,000	木田みな子 10,000	福島 明美 3,000	鶴川教会 56,700
今村 博至 6,000(2)		鈴木 栄 10,000	木下 良子 5,000	福島 一夫 150,000	松本教会 6,600
今村直・路加 10,000		諏訪 昭子 5,000	木下忠司・久美子 5,000	福島 静代 1,000	まぶね教会 42,700
内城 薨子 3,000		園田 博 3,000	吉良 保子 5,000	水谷カヲル 3,000	合計10件
大浦 邦子 3,000		高木 明子 17,000	小林 明 10,000	村井 道子 3,000	金額 323,100
大林 克江 5,000		高柳めぐみ 5,000	小林利明・恒子 3,000	森下 義夫 10,000	
岡本 明夫 1,500		田中 暉彦 50,000	小櫃テイ子 3,000	山田 穰 3,000	
		田中 佑幸 10,000	今野螢子・隆史 30,000	山田美知子 5,000	
		合計62件	金額 533,300		

事務局だより

集中豪雨による多大な被害、心からお見舞い申し上げます。

\*後援会だより98号をお届け致しました。1ページの道北クリスチャンセンター藤吉主事には、カナダ研修からお帰り早々のお忙しい折にも関わらずご執筆頂き本当にありがとうございました。どうぞ皆様、道北クリスチャンセンターのお働きをお覚え下さいますよう宜しくお願いいたします。

\*2ページでは、農伝で皆様にご参加頂ける四季折々の「自然との交わり」をご紹介致しました。ご紹介の中で、菜の花摘みやミョウガ採りなど初めてのご案内ですが、ご参加頂ければ何れも季節感が満喫出来ること間違いありません。また、ご紹介の栗拾いについては、農伝と言え「栗拾い」として長い間親しんで頂いた栗の木が老木となり、環境の悪化や特に昨今の異常気象などにもよるのでしょうか、実のつきが悪くなり、枯れ木が多くなりました。もうしばらくは個人の栗拾い程度にはお応え出来そうです。既に、枯れ木の後に順次ブルーベリーや

柑橘類への植え替えを行っていますが、「新たな展望をたてつつリニューアルして行きますのでご期待下さい」との農場運営委員会のお話でした。

\*3ページでご案内致しました農伝デーは、ご承知の通り学校主催のオープンキャンパスです。

この農伝デーに後援会も出店しグッズ販売を致します。グッズは皆様からのご支援ご協力、アイデア提案などもあり、工作品15品種にもなり、カード類は、聖書物語、野津田の四季(絵:金斗鉦)、のほか農伝スケッチ、聖句カード、クリスマスカードが出来ました。農伝デーには皆様にお求め頂けるよう沢山用意致しますのでおいでの際はどうぞお求めください。

\*新年度に入り半年が過ぎようとしていますが、4月から8月までお捧げ頂いた献金及びグッズ等収入について感謝しご報告致します。多くの皆様に支えられ引き続きも後援会活動を果たして参りたいと存じます。どうぞ今後共、熱いお支えを宜しくお願いいたします。

(後援会事務局 古川力也)

2014年度後援会会計報告

2014年4月1日～2014年8月31日現在

献金区分	収入(献金・他)		前年度同期		前年同期比(%)
	2014年度(4月～8月)		前年度同期		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
後援会費(団体)	16	295,000	13	243,000	121%
〃(個人)	91	827,000	91	654,500	126%
記念日他献金(団体)	13	422,272	13	351,700	120%
〃(個人)	82	753,500	56	551,500	136%
ひとつぶ献金(団体)	17	509,560	19	604,750	84%
グッズ		57,000		75,050	76%
合計	219	2,864,332	192	2,480,500	115%

発行 農村伝道神学校後援会  
 会長 島しづ子  
 事務局長 古川力也

〒195-0063 東京都町田市野津田町2024  
 TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711  
 E-メール: noden@pony.ocn.ne.jp  
 ホームページ: http://www11.ocn.ne.jp/~noden/  
 振替番号 00120-6-24418